様式4

都市再生整備計画　フォローアップ報告書

上之地区

平成28年5月

埼玉県熊谷市

1. 数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4－①　都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	幅員6m以上の道路整備率	%	20.5	26.5	24.4	確定 見込み ●	△	あり なし ●	24.4	H28年5月	△		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業により、狭隘道路の解消が進み、地区の住環境の快適性と交通利便性が向上した。
指標2	安心・安全のまちづくりに関する啓発事業参加者数	人/年	15	50	53	確定 ● 見込み	○	あり なし	－	H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	講習会を年複数回開催したことで、多数の参加者があり、住民の安心・安全に対する意識向上に寄与した。
指標3						確定 見込み		あり なし		H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
指標4						確定 見込み		あり なし		H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-①から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4－②　その他の数値指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	埋蔵文化財発掘調査見学会参加延人数	人	1,245		2,629	確定 ● 見込み			－	H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	埋蔵文化財発掘調査見学会及び出土品の展示会に多くの住民が参加し、歴史にふれあう機会が増加している。
その他の数値指標2	窃盗事件発生件数	件	5		1	確定 見込み ●			5	H28年5月		評価値計測後、予想以上に窃盗事件が発生した。	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	確定値は従前との大きな違いが見られなかったものの、計画期間中は発生件数が抑制されており、安全性の向上に対して一定の効果が得られたと評価できる。

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-②から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5－③に記載した今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	安心安全なまちづくりの維持・継続	・広報紙により防犯に関する啓発記事を掲載することとした。 ・区画街路6-45号線、都市計画道路熊谷谷郷線、第2北大通線の整備に着手することとした。	・各種事業の実施に向け調整中。	・今後は、住民主体の活動に移行していく。
	地域コミュニティの強化			
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	魅力的な住環境と快適な交通環境の創出	・土地区画整理事業の完了に向け、事業を推進中である。	・土地区画整理事業が順調に進捗している。	・住民による公園などの維持管理活動を推進する。

事後評価シート 添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
なし			